



学校朝会の言葉(9月29日)

文責 竹田 圭志

1・2年生の皆さんは、明日から新人戦 球技の部がスタートします。出場する選手の皆さんは、今までの練習の成果を十分に発揮して、力の限り悔いのないように戦っててください。

誰でもそうだと思いますが、勝負事の真っ最中、平常心が保てなくなることがよくあります。自分の感情と戦うことが精一杯で、上手いかない自分のプレイにイライラしたり、失敗を引きずってウジウジしたり…。勝負事で大切なのは、「常に仲間がいる」「支えてくれる人がいる」という、周囲の存在に気づき、立ち返れるかが大切だと思います。

私の部活指導経験の中でもこんなことがありました。ここ一番という大事な場面、明らかに選手が自分を見失っておどおどしています。いつもの私なら、技術的なことを「ああしろ」「こうしろ」とごちゃごちゃ言ったり、「大丈夫だ、自分を信じろ!」「やればできる!」など、根拠のない励ましをしていたと思います。そんな私がいつになく冷静に選手に掛けた言葉とは…?

「朝飯、何食べたか思い出せ。(しばらく時間をおいて)思い出せたか? そうしたら、それをつくってくれた人の顔を思い浮かべろ。」。思いつきでこんな言葉を掛けただけでしたが、選手たちはニッコリ微笑んで、いつも以上の力を発揮してこの場をしのいでくれました。

新人戦に出場する1・2年生に限らず、3年生にとっても受験という勝負が控えています。緊張して自分の力を出し切れそうもない場面もあるかもしれません。そんな時こそ、自分を支えてくれている人たちの顔を思い浮かべてください。そして、感謝の気持ちをイメージしてみてください。きっと、皆さんの力になってくれると思います。

何かにつづかって苦しい場面になったとき、今日の話を出してくれたら嬉しいです。

新人体育大会予選 球技の部(9月30日～10月2日)

新人体育大会比企地区予選会(球技の部)が、9月30日(水)から開催され、各会場で熱戦が繰り広げられました。この状況の中であって、会場となる公共施設等の皆様のご理解や、大会を運営する顧問の先生方の徹底した感染防止対策のおかげで、無事に大会が開催できましたことに感謝申し上げます。また、当日は無観客(保護者の観戦は禁止)での実施だという点を、厳格に守ってくださった保護者の皆様に御礼申し上げます。

今年は、新型コロナウイルスの関係で部活動休止期間も長く、十分に練習を積むことができませんでした。本校では、上級生が少なく、入部して間もない1年生がレギュラーとなるチームもありましたが、2年生がしっかりとリーダーシップを発揮していましたし、1年生であっても相手に向かっていく闘争心は決して負けていなかったと感じました。結果的には、予選を突破して県大会出場権獲得はなりませんでした。出場した選手も、ベンチからの応援メンバーも、力の限り全力で戦ってくれました。会場での態度やマナーも素晴らしかったと思います。

「勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし」という、プロ野球の名監督だった故野村克也さんの言葉があります。「よくわからないけど勝ちちゃった」ってことはあるけれども、「よくわからないけど負けちゃった」ということはない。負けには、必ず原因(敗因)がある。敗因を分析して、次に対戦したときに勝てるようにするのが練習。このように、練習には目的意識を持つことが大切だということです。勉強も同じですね。来春の学校総合体育大会まで8ヶ月以上あります。今回の大会で良かった点はさらに伸ばし、改善すべき点はしっかりと改善できるよう努力して、大きく成長してくれることを楽しみにしています。

新人体育大会比企地区予選会の戦績

- バレーボール部 対 嵐山町立菅谷中学校 ②-0
 対 川島町立川島中学校 0-②
 ※予選リーグ1勝1敗 <予選リーグ敗退>
- バスケットボール部 対 川島町立西中学校 17-106 <1回戦敗退>
- 男子ソフトテニス部 【団体】 対 東松山市立南中学校 1-② <1回戦敗退>
 【個人】 4回戦敗退[ベスト16] 2年生ペア1チーム
 3回戦敗退 2年生ペア2チーム
 2回戦敗退 2年生ペア2チーム、1年生ペア1チーム
- 女子ソフトテニス部 【団体】 対 鳩山町立鳩山中学校 ②-1
 対 小川町立西中学校 1-② <2回戦敗退>
 【個人】 ベスト8→5位決定戦で敗退:7位 2年生ペア1チーム
 4回戦敗退[ベスト16] 2年生ペア1チーム
 2回戦敗退 1・2年生ペア1チーム
 1回戦敗退 1年生ペア1チーム

大会での一コマ

普段は目にする事ができない「色々な姿」を見せてくれました。

